



2016年6月27日

Press Release

楽天証券株式会社

## ノーロード投信（買付手数料0円）の取扱い銘柄数が

### 業界初<sup>※1</sup> 1,000 銘柄突破！

### ～低コストでよい投資を～

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都世田谷区、以下「楽天証券」）は、株式投資信託の取扱い銘柄数が2016年6月24日（金）時点で2,169銘柄<sup>※2</sup>、うち買付手数料なしのノーロード投信は1,000銘柄となり、業界で初めて1,000銘柄を突破しました。

楽天証券では、お客様に低コストでの資産運用商品を提供すべく、投資信託においてはノーロード投信の拡充を積極的に進めてきました。また、独自の評価基準となるファンドスコアの導入、低コスト投信を選定した「楽天スマートコストシリーズ」の開始、投資信託の販売会社の主催としては初めてとなる「楽天証券ファンドアワード」の実施など、お客様の投資信託選びをサポートする取組みを行ってきました。加えて、継続的に投資信託サイトのリニューアルを行っているほか、資産管理画面の強化に取り組んでいます。

さらに、ロボ・アドバイザー・ラップサービス“楽ラップ”を2016年7月2日（土）から開始します。手数料が非常に安く、投資金額10万円から始められ、グローバル大手のコンサルティング会社や資産運用会社からのアドバイスに基づき、運用手法の優れた低コストファンドに投資して運用される革新的サービスです。

楽天証券は、これまで以上に、お客様のニーズに即し、さらに魅力あるサービスや商品を提供することで、お客様の資産形成に貢献してまいります。

※1：2016年6月24日（金）時点における国内証券会社との比較において（当社調べ）

※2：当社取扱い株式投資信託銘柄数（当初募集銘柄含む）

以上

**【手数料等およびリスクの説明について】**

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（楽天証券ホームページ）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 195 号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会